

第 66 回運営会議（2006. 2. 13 開催）結果報告		2006. 2. 21 庶務発信
開催日時：	平成 18 年 2 月 13 日（月）15:00～15:40	
場 所：	大阪市中央公会堂 2 階 第 6 会議室	
参加者数：	委員 9 名（委員長、副委員長 2 名、地域別部会およびテーマ別部会の元部会長 4 名、水位操作 WG 元リーダー、元委員長）、河川管理者 3 名	
<b>1. 決定事項</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の委員会では、規約にしたがって委員長が各地域別部会を開催し、各部会長の選出を行う。</li> <li>・部会長は部会委員による無記名投票で選出することとし、そのルールは部会委員の過半数の票を獲得すれば決まりとする。票数が割れた場合、上位 2 名の決選投票とし、過半数がとれるまで投票を行う。同票数の場合は抽選とする。</li> <li>・部会長の選出は、琵琶湖部会から順次行い、委員と河川管理者から立会人を出して票の集計を行う。</li> </ul>		
<b>2. 審議の概要</b>		
<b>①第 49 回委員会の進め方について</b>		
<p><b>(運営方針について)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会は 2 ヶ月に 1 回程度の開催でよい。（委員長） ←相応の人数が出席する会議とそうでない少人数の会議では、かかる経費が大きく異なる。公開の会議を何回とした方がよいのでは。予算の制約と審議の内容により決めていただく必要がある。（河川管理者）</li> <li>・委員会については 4 月以降に開催回数を決めたいが、開催回数は前回よりも減らす方向で調整したい。しかし、WG 的な会議は活発にやらせてもらいたい。特にテーマ別部会は一年間休んでいたという状況にあり、つめてやる必要がある。（委員長）</li> <li>・地域別部会は事業進捗に関する活動が中心になるとすれば、部会の開催頻度は落ちるのか。 ←部会開催は減るが、作業部会などは多くなる。（委員長）</li> <li>・委員会での一般傍聴者発言については継続的に実施したいが、発言者の固定化や発言時間の問題がある。本当は、これまで発言がなかった人にも発言していただきたい。一般傍聴者からの意見聴取は住民参加部会が仕切ってやっていただくことは如何か。（委員長） ←委員会内で委員の意見を頂戴して、それを受けた形で一般の方からも意見を聞き、方針案は運営会議で決めればよい。</li> <li>・本日は、これまで通りの意見聴取とする。委員会への投稿意見については A4 版に限定したい。（委員長） ←その部分は本日の委員会で方針を決めるのがよい。委員会への投稿意見は A4 版、配布資料は 1 回きりにしたいということを提案されればいいと思う。</li> </ul>		
<p><b>(部会等の委員構成について)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議資料 2 に委員からの所属希望のアンケート結果が示されており、部会を一つだけ希望する委員が何名かいるが、原則としては 2 部会所属が望ましい。委員の希望を取り急ぎ聞いただけなので、所属部会の変更希望があれば受け付けたい。できるだけ委員の希望通りにしたい。（委員長）</li> <li>・テーマ別部会は住民参加部会が 13 名、利水・水需要管理部会が 12 名であり、うまく分かれた。水位操作 WG については運営会議での決定事項であり、委員会では取り上げない。（委員長）</li> </ul>		
<p><b>(部会長の選出について)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記した 1. 決定事項 のとおり</li> </ul>		
<b>②その他（3 月の委員会スケジュール検討等）</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の委員会で新部会長が決まるので、次回の運営会議の日程は部会長の都合を踏まえて早く決める。委員の勉強会については、3 月中に開催したい。（委員長） ←2 月末を目処に勉強会用の資料を作成している。（河川管理者）</li> </ul>		
以上		

※このお知らせは委員の皆様に主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただきます。